

有線式 アラーム/チャイム 増設用

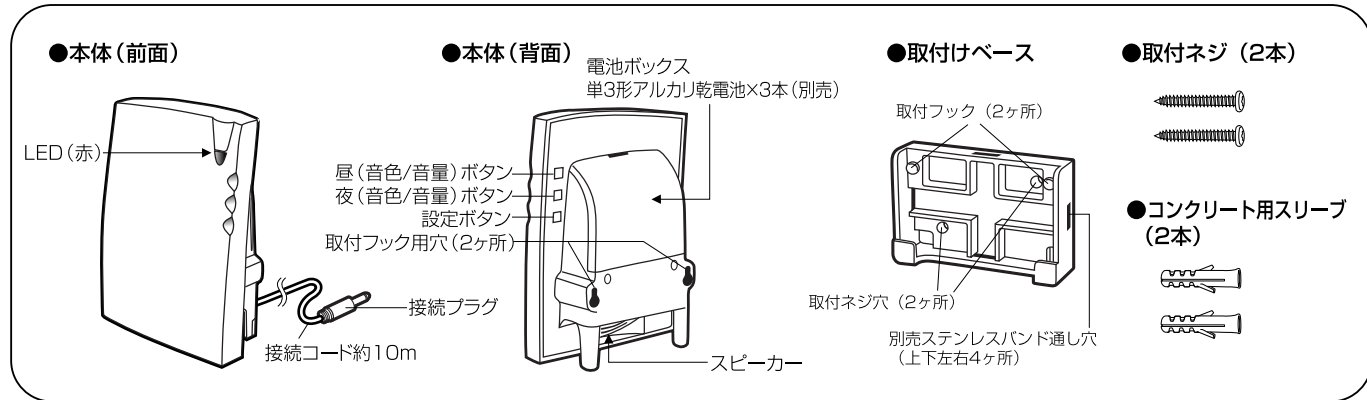
※本製品は単独ではご使用できません。

ESL-PH150(PW)、ESL-PH100(PW)、ESL-PH200(PW)との組み合わせでご使用になれます。

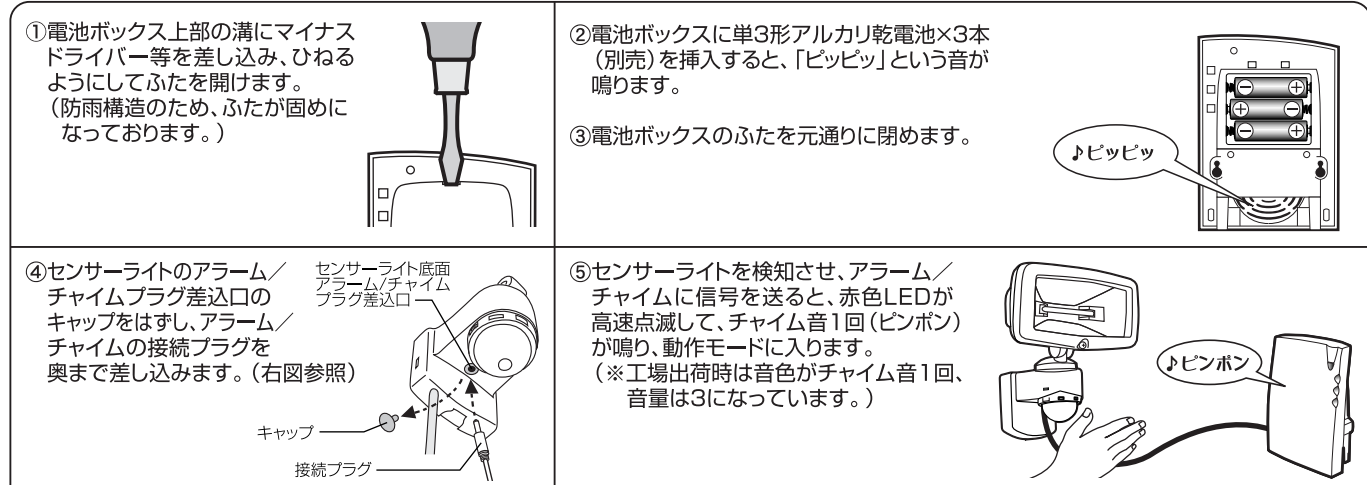
お客様へのお願い

ご購入後、まことにありがとうございます。ご使用前によくお読みいただき、正しくお使いください。また、この取扱説明書は必ず保管してください。

1 各部の名称と付属品



2 設定

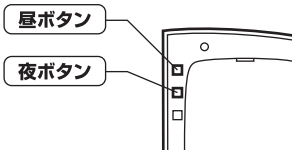


音量の設定

「動作モード」中はいつでも音量を変更することができます。屋（音色/音量）ボタンおよび夜（音色/音量）ボタンを押して、屋、夜それぞれお好みの音量を選択します。ボタンを押すごとに音量が切り替わり、最後に鳴らした音量で固定・選択されます。

アラーム/チャイムにあらかじめ設定されている6段階の音量

1（最小）▶ 2 ▶ 3（工場出荷値）▶ 4 ▶ 5（最大）▶ 音量OFF（ピッという音が鳴り、音量OFFを示します。）



音色の設定

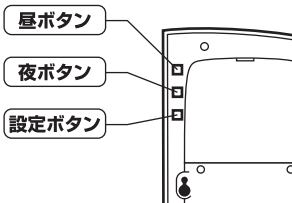
①設定ボタンを1秒間押し、「ピッピッ」という音が鳴り、本体前面の赤色LEDがゆっくり（4秒間隔）点滅し、「設定モード」が始まります。

②屋（音色/音量）ボタンおよび夜（音色/音量）ボタンを押して、屋、夜それぞれお好みの音色を選択します。ボタンを押すごとに音色が切り替わり、最後に鳴らした音色で固定・選択されます。

③設定ボタンを1秒間押し「ピッ」という音が鳴り（または最後にボタンを押してから2分経過後自動的に）、「設定モード」が終了し「動作モード」になります。

アラーム/チャイムにあらかじめ設定されている5種類の音色+無音

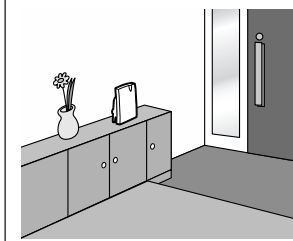
●チャイム音1回（工場出荷値） ●チャイム音2回 ●アラーム音 ●犬の吠える声
●「センサーが反応しました。（女性の声）」 ●無音（ピッという音が鳴り、無音を示します。）



3 取付

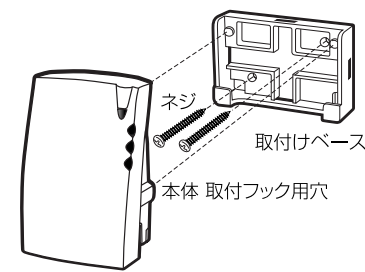
●付属の接続コード約10mの範囲内で、アラーム/チャイムおよびセンサーライトの取付位置を決めてください。

(1) 据え置き



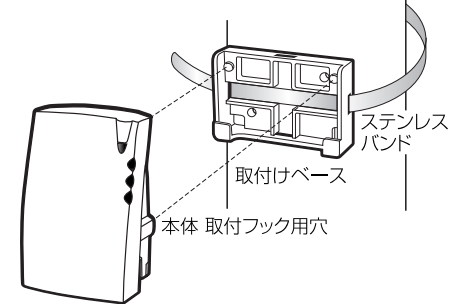
テーブル、下駄箱等に据え置いてご使用いただけます。

(2) 取付ネジによる壁への取付



①取付ベースを付属の取付ネジで壁に水平に固定します。
②本体の取付フック用穴に取付ベースの取付フックを差し込み、しっかりと固定します。
※コンクリート壁の場合は、あらかじめドリルで直径6mm、深さ30mmの穴を開け、付属のコンクリートスリーブを打ち込んでからネジ止めしてください。

(3) ステンレスバンド（別売：弊社型番ESL-SB）によるポール・柱等への取付



①取付ベースにステンレスバンドを水平方向または垂直方向に通し、ポール・柱等に固定します。
②本体の取付フック用穴に取付ベースの取付フックを差し込み、しっかりと固定します。

4 動作

(1) 昼夜判別について

昼夜判別はセンサーライト内部の照度センサーによって行なっています。昼と夜の音色それぞれを有効にする場合には、センサーライトの点灯開始照度ツマミを「夜」に設定してご使用ください。「昼」に設定すると、夜ボタンで設定した音色/音量のみが有効となります。

センサーライト側が「夜」設定 → 昼と夜の音色がそれぞれ有効



センサーライト側が「昼」設定 → 夜の音色のみ有効



(2) 動作

センサーライトが検知すると、赤色LEDが高速点滅し、設定した音色が設定した音量で鳴ります。
注）センサーライトが検知し、アラーム/チャイムに信号を送った後15秒間は、センサーライトからの新たな信号はキャンセルされ音が鳴りません。（キャンセルされた場合赤色LEDが高速点滅します。）

(3) 電池の交換時期について

電池の交換時期が近づくと、赤色LEDが連続点灯（おおよそ3～7日間）し、設定した音色が鳴った後すぐ「ピッピッ」と警告音が鳴ります。このような症状が出た場合はお早めに電池を交換してください。
※電池交換後、工場出荷時の設定に戻りますので、再度、設定を行なってください。

！ 使用上のご注意

- 本品は非常に大きな音が発生します。聴力を傷つける原因となりますので、乳幼児の近くや耳元では絶対に鳴らさないでください。
- 本品は防雨構造で通常の雨には耐えますが、完全防水ではありませんので、多量の雨や水のかかる場所や湿気の多い場所には取り付けないでください。
- 変形や故障の原因となる為、次の事にご注意ください。
 - 暖房器具の近くなど高温になる場所ではご使用にならないでください。
 - 本品を分解・改造しないでください。
 - 油や煙のかかる場所での使用はおやめください。

！ 安全上のご注意

- 電池は乳幼児の手の届かないところに置き、万一電池を飲み込んだ場合はすぐに医師に相談してください。
- 漏液の原因となる為、次の事にご注意ください。
 - 電池の⊕⊖の方向を正しく入れてください。
 - 古い電池と新しい電池、種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
 - 長時間で使用にならない時は、乾電池を外してください。
 - 電池は充電しないでください。
- 電池のアルカリ液が目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やケガの恐れがありますのでこすらずすぐに多量のきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けてください。